

化粧箱	印刷や箔押しなどで装飾している箱のこと。 ギフト用やケーキ箱、雑貨、服飾用など、さまざまな用途で使用されています。
合紙	紙材と紙材を貼り合わせる事。例えば、和紙とコート紙を貼合わせて裏表を異なる紙材にしたり、同じ紙材同士を貼り合わせて、強度の強い紙材にしたりする事も可能です。
ロット	製産する数量のこと。受注する時に、ロットはどれくらいですか?とお聞きします。
完全データ	印刷デザインのデータがそのまま製版データとして使用出来る状態のこと。 イラストレーターでのデータの受渡しが一般的です。
校正刷	完成品と同じ紙材、同じインキで印刷し、色の確認をする事です。 校正刷を行うには、製版を作成しなければならないので万一反更が生じた場合は、再度製版代がかかります。
カンブ	デザインや文字の確認のため、出力したもの。
フォント	書体の種類のこと。
CMYK	印刷時の基本となる、4色の事。C(シアン) M(マゼンダ) Y(イエロー) K(ブラック)
特色	CMYKで出すことが出来ない色、インキを調合して作成します。
ベタ印刷	箱の全面や大部分に1色の色を印刷すること。インキの量を多く使用し、色むらなどが生じやすいため、印刷が通常より割高になります。
網点	小さな点の集まりで 色の濃淡を表現します。
アウトライン	文字を画像化する事です。これにより、所有していないフォントでも文字化けせずに印刷する事ができます。
塗り足し	箱の図面より3mm程度色をはみ出してデータを作成します。 これにより、印刷やトムソン時にズレが生じた場合でも、紙材の白い部分が出ないようにします。
ゲス	箱の中の仕切のこと。焼き菓子などでもよく使われているように、商品が動くのを防止したり、よりよく見せるために下に敷いて使用したりします。
バット	箱の中の商品に傷が付かないように、金止めの部分に当てボールとして使用したり、ボール紙の中の色を隠すために身箱の底と、蓋箱の天に入れたりして、使用します。
表面処理	印刷後、「ニス」「ビニール」「プレス」「マット」などの加工を行うこと。 これにより、印刷後のこすれや色うつりなども防止でき、またさまざまな風合いを出すことも可能です。
箱押し	箱のデザイン加工の一つ。箔版を利用して、凹ませた部分に金銀などの色彩を熱転写します。 さまざまな色を利用する事ができます。